

一般質問事項一覧

9月 7日（月）

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／7日（月）	白崎（新風会・公明）	一括質問・答弁方式	<p>1 災害への対応について</p> <p>○ 今回の新型コロナウイルス感染症に対し、平成28年3月に策定された「大野市業務継続計画」をどのように生かしたのか。また計画の内容を更新していったのか。</p> <p>○ 国土交通省の「防災道の駅」認定制度が創設される予定であるが、道の駅「越前おおの荒島の郷」は認定を目指すのか。また認定を受けるために必要な要件は何か。</p> <p>○ 損害保険ジャパン日本興亜株式会社との連携協定に係るBCPセミナーの開催状況はどうであったか。また今後の支援については、どのように実施していく予定なのか。</p> <p>2 民間事業者による風力発電計画について</p> <p>○ 大野市と池田町にわたり、民間事業者による風力発電計画があるとのことだが、本計画に対する石山市長の所見を伺いたい。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／7日（月）	木戸屋（未来おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 人口減少対策について</p> <p>全国的に人口減少は大きな問題となっているが、大野市においても最優先課題の一つである。過去5年間に本市の人口は、平均年間約470人減（自然減 約320人、社会減 約150人）となっている。昨今のコロナ禍において、地方で生活する良が見直され、働き方も変わりつつある。また本市においては、大野ICから（仮称）和泉ICの中部縦貫自動車道が、令和4年度に開通することが正式に発表された。これらの好条件の中、人口減少対策に重点を置いた今後の施策は、非常に大きな効果をもたらすことが期待できる。そこで、人口減少対策に関して、市としての現在の取り組みと今後のビジョンについて質問をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人口減少対策の現在の取り組みはどのようなものがあるのか。それにもかかわらず大きく人口が減少している要因について、どう考察しているのか。 2 今後変わるであろう社会情勢を見据えて、人口減少に対してどのようなビジョンを持って市政を行っていくのか。 3 中部縦貫自動車道の一部開通により、和泉地区での移住・定住促進が、人口減少にも大きな影響を与えると考える。その点について、市はどのように考えているか。 <p>2 大野市小中学校再編計画の見直しについて</p> <p>大野市小中学校再編計画の見直しに向けて、検討委員会が立ち上がり、これまでに3回の会議が開催された。そこで、検討委員会について次の質問をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 各検討委員会が出された質問や意見の概要について 2 会議の進め方に対する委員長の考え方について 3 今後の検討委員会のスケジュールについて

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) ／7日(月)	榮 (日本共産党大野市議団)	一括質問・答弁方式	<p>1 農業問題について</p> <hr/> <p>① 令和2年3月31日、新たな食料・農業・農村基本計画が閣議決定された。この計画の閣議決定は2000年に始まり今回で5回目であるが、その特徴は何か質問する。</p> <p>② 大野市の人・農地プランの進捗(しんちよく)状況はどうか。</p> <p>③ 農作物の鳥獣による被害が深刻になっているが、その対策について質問する。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) ／7日 (月)	廣田(清風会)	一括質問・答弁方式	<p>1 公共下水道事業について</p> <p>平成27年12月議会において、水が健全に循環し、そのもたらす恩恵を将来にわたって享受できるよう「大野市健全な水循環のまち宣言」を議会として決議した。九頭竜川の最上流域に位置する大野市において、恵まれた水環境を後世に残すためにも公共用水域の水質保全や生活環境の改善を図る責務があることから、今後の公共下水道事業を含む汚水処理対策について聞きたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 公共下水道事業の経緯について 2 県内各市町の下水道接続率（公共下水道事業及び農業集落排水事業）と合併浄化槽設置率について 3 市内各地区の下水道接続率（公共下水道事業及び農業集落排水事業）と合併浄化槽設置率について 4 上記を踏まえ大野の恵まれた水環境を後世に残すために、今後どのような汚水処理対策を行っていくのか。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) ／7日 (月)	高岡 (双葉会)	一括質問・ 答弁方式	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <hr/> <p>○ 市長に就任されて2年が過ぎた。過年度において大野市内の商業・工業及び産業に対する育成や支援に、市長は大変なる尽力をされてきた。これから、これら商工業及び産業界への支援・育成について、どのように考えているのか尋ねる。</p> <p>○ 人口減少対策においても大変なご尽力をされてきたと思うが、これからの人口減少対策において、どのように考えているのか大野市長としての考えを尋ねる。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) ／7日 (月)	林 (新風会・公明)	一括質問・答弁方式	<p>1 「新たな日常」の実現と地域づくりについて</p> <p>本年7月に閣議決定した「経済財政運営と改革の基本方針2020」に、新型コロナウイルス感染症の拡大により顕在化した課題を克服するため、「新たな日常」構築の原動力となるデジタル化への集中投資・実装とその環境整備（デジタルニューデール）が盛り込まれた。働き方や暮らしが大きく変革したコロナ禍における「新たな日常」の実現は、安心して住み続けたい市民の生活の質を高めるとともに、地方への移住の機運が高まっている時代の流れに沿うもので、昨年6月議会において議論した「自治体戦略2040構想」に掲げるスマート自治体への転換も求められている。</p> <p>これからの10年、生産年齢人口が加速度的に減少する中、劇的な変化も受け入れ、公民連携の行政経営をどう進めていくのか、本市のブランド力を高めて移住受け入れや関係人口創出を促進するためにも、特長を生かした地域づくりが欠かせないが、その核となる公民館の在り方が重要となることから、次の2点について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「新たな日常」構築の原動力となるデジタル化に向けた市の方針は。 ○ 議案第48号に計上された「リモート環境整備事業」の概要と、公民館の機能強化に向けた体制整備の方向性は。

一般質問事項一覧

9月 8日（火）

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 （第2日） ／8日（火）	廣瀬（新風会・公明）	一括質問・答弁方式	<p>1 道の駅「越前おおの荒島の郷」について</p> <p>来年度早期に開駅予定の道の駅「越前おおの荒島の郷」について、施設管理、運営計画が示された。以下の3点について説明を求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでに掛かった総事業費は幾らか。そのうち大野市の負担分は幾らか。 ○ 開駅後、道の駅に掛かる大野市の支出はどのようになるのか。 ○ 現時点での道の駅の目標とする来場者数と売り上げ目標をどのように見積もっているのか。またそれを達成するために、どのような手立てを考えているのか。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) / 8日(火)	野村 (日本共産党大野市議団)	一問一答方式	<p>1 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について</p> <p>① 市内で検体採取できるようにする必要があると考えるが市の考え方は。</p> <p>② 実態調査を行い、コロナ禍で減収になった医療機関に減収分の補填を検討しないか。</p> <p>③ 新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金の対象から外れる、福祉従事者に特別手当を市として支給することを検討しないか。</p> <p>④ 在宅介護者に支援金を支給することを検討しないか。</p> <p>⑤ 上下水道・簡易水道・農業集落排水 料金の減免策を検討しないか。</p> <p>⑥ 大学生・専門学生への支援が必要ではないか。</p> <p>⑦ 保健所（健康福祉センター）の強化が必要ではないか。</p> <p>⑧ 市民が何に困っているのか、実態調査（市民アンケート）を行ってはどうか。</p> <p>2 名水百選御清水周辺の下水道工事について</p> <p>① 名水百選御清水の観光資源としての市の考え方は。</p> <p>② 下水道以外の汚水処理について、どのように考えるのか。</p> <p>③ 下水道工事の試掘調査結果のほかに環境アセスメントを行うべきではないか。</p> <p>④ 一般市民にも説明会を開くべきではないか。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) / 8日 (火)	ダニエル(無党派)	一問一答方式	<p>1 中学校の部活動は、教員の働き方改革の妨げとなっている最大の要因ではないか</p> <p>教員の働き方改革が叫ばれて久しいが、今もなお日本の教員の労働時間は他の職種に比べてもはるかに長い。また残業代もほぼ支払われないサービス残業となっている。さまざまな要因が複雑に絡み合って今のような状況になっていると思うが、ここで私は中学校の部活動に的を絞って問題提起をしていきたい。</p> <p>全国的に中学校の部活動の状況を鑑みると、以下のような問題が挙げられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 以前に比べ教員の部活動にかかる時間は減ったが、それでも各教員の長時間のサービス残業によって部活動が成立している。 ○ 部活動に割く時間があまりに長いが故に「部活離婚」「部活未婚」「部活未亡人」「部活孤児」という言葉さえ生まれている。 ○ 生徒数の減少で、生徒が本当に入りたい部活動が学校にない。 ○ 生徒数の減少で、野球・サッカーなどの団体競技を行うためのメンバー数が確保できない。 ○ 特に運動部に言えることだが、例えば卓球のことを全く知らない教員が卓球部の顧問になっているなどの事例がかなりある。 ○ 各教員は、校長に部活動の顧問を頼まれると断れない。 <p>このような状況を鑑みると、特に少子化の激しい大野市において、学校を単位とした部活動は残念ながら成り立たなくなっているのではないかとと思われる。</p> <p>そこで今回、以下の点について質問したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現在でも大野市の中学校教員の残業時間は過労死ライン(月80時間以上)を超えているのか。 ○ 2019年6月の一般質問で、大野市教育委員会が「中学校教員8時退庁」という原則を決めたと答弁されているが、教員の朝型の勤務形態を考えると「4時半退庁」ができるよう環境を整えるのが適切ではないか。 ○ 仮に中学校から部活動そのものを全廃した場合、教員の残業時間はどのくらい減る計算になるか。 ○ 学校単位ではなく、大野市全体でスポーツクラブや文化芸能部を運営した方が、生徒の多様な興味、関心に応えられる部活動を提供できるのではないか。 ○ 学校単位ではなく、大野市全体でスポーツクラブや文化芸能部を運営した方が、顧問就任を希望する教員によって十分な残業代を支払いつつ部活動を運営していけるのではないか。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) / 8日(火)	ダニエル(無所属)	一問一答方式	<p>2 大野市も拉致問題の啓発活動にもっと力を入れてはどうか</p> <p>横田めぐみさんをはじめ、多くの拉致被害者がいまだに帰国を果たせていない。一人の日本国民として悲しく憤まんやる方ない思いでいっぱいである。大野市で拉致被害者の存在が確認されているわけではないが、実際に同じ福井県小浜市でも北朝鮮による拉致事件が起こっており、極めて悪質かつ非道な犯罪であるが故に、他人事として片付けてはならないと考えている。</p> <p>しかしながら、現在コロナウイルスや米国大統領選挙などの話題が主流になり、拉致問題に関する報道は下火になっている。そのような状況の中、拉致被害者の最後の一人が帰国できるまで、われわれは拉致問題解決に向けた努力を怠ってはならないと考える。</p> <p>ここからは、私の提案であるが、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大野市の小中高校で、拉致問題を道徳の授業等でもっと取り上げるべきではないか。 2 市内の公民館等でも、国・県の支援を受けながら、定期的に有識者を招いて講演会などを開催すべきではないか。 3 市役所でも拉致問題の啓発活動のためのポスターを常時掲示すべきではないか。 <p>横田めぐみさんのお父さま、滋さんが6月に逝去され、長年拉致問題に尽力されてきた安倍首相が先日辞意を表明された。そこでわれわれは今一度、拉致問題の存在を共に再確認すべき時ではないか。今こそわれわれ日本国民、並びに大野市民は国際社会の一員として、拉致などという悪質な人権侵害を絶対に許さない、という姿勢を一丸となって示すべきだと考えるが、市長並びに市当局の見解を伺いたい。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) ／8日 (火)	ダニエル (無所属)	一問一答方式	<p>3 未就学児への英語教育も希望者に提供してみてもどうか</p> <p>自ら子育てを始めて1年半ほどたつが、自分の娘がハーフであるが故に日本語と英語によるバイリンガル教育を実践している。今の段階で娘の話す言葉の割合は、英語が3分の2、日本語が3分の1である。小さいころから英語に親しんでおくと自然に英語が出てくるようになるのは本当のこのようだ。</p> <p>子育てを始めてから、多くの市民から「家では何語で子どもに話しかけているのか」などと娘の語学教育について聞かれることが本当に多い。大野は外国人の数は比較的少ないものの大野市民の英語教育に対する関心は非常に高いと常々感じている。</p> <p>現在、大野市の小学校でも英語を教えているようだが、子育て支援センターやVIO内のちつく・たつくでも英語の歌や踊り、ALTによる簡単な授業を導入してみてもどうだろうか。親子で学習を楽しみつつ子どもの英語力の向上が期待できると思うが、市長並びに担当部局の考えを伺いたい。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) ／ 8日 (火)	伊東 (新風会・公明)	一括質問・答弁方式	<p>1 コロナ禍における本市の対応状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 福井県内で新型コロナウイルス新規感染者数が増加し、入院患者数についても基準を超える見込みがあることから、9月10日までを期間とする「福井県感染拡大警報」が発令されている。いつどこで感染するか分からないという状況の中、保護者が発症した場合の子どもの預け先や濃厚接触者となる家族のさまざまな不安に対し、どのように対応していくのか、課題の認識と大野市の見解をお伺いします。 ○ 新型コロナウイルス接触確認アプリCOCOAの導入状況と、周知、普及拡大に向けた今後の取り組みは。 ○ 災害時における避難体制や避難所の点検・確認、備品の拡充はどうなっているのか。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／8日（火）	高田（新風会・公明）	一括質問・答弁方式	<p>1 上下水道について</p> <hr/> <p>1 泉町、清瀧区における下水道事業の説明会の経過を尋ねる。</p> <p>2 下水道工事中、若しくは工事後の飲み水の安心度は、いかがなものか尋ねる。</p> <p>3 災害時の下水道のトラブルは、どのようなことが想定され、その対処はどのようにされるのか尋ねる。また、他市での事例があったら聞きたい。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) ／8日(火)	松本 (無党派)	一括質問・ 答弁方式	<p>1 新型コロナ流行時における生活困窮者への対応について</p> <p>議案第48号において、生活困窮者自立支援事業として、約23万円の予算が計上されている。こういったものを鑑みると、新型コロナ等の影響で生活困窮者が増加しているのではないかと危惧するところである。</p> <p>そういった観点で、次に挙げる点について伺う。</p> <p>○ 新型コロナ流行の影響を受けた生活困窮者は、今年4月以降何人いたのか。また、どのような支援策を実施したのか伺う。</p> <p>2 道路整備とまちづくりについて</p> <p>○ 県が、県道皿谷大野線の計画を進めている。本市は、この県道の整備にどのように関わっていくのか伺う。</p> <p>○ 大野油坂道路の「大野ICから(仮称)和泉IC区間が令和4年度に開通する見通し」と国土交通省から発表された。本市では、令和3年の春に道の駅越前おおの荒島の郷が開駅することを目指し工事を進めており、和泉地区には道の駅九頭竜がある。両道の駅を活用して、どのようにまちづくりを進めていくのか伺う。</p>